



地域資源を活用した 持続可能な取り組み

東洋大学附属姫路高等学校
地域活性部 PROJECT TOYO

耕作放棄地から未来につながる！

自然との「共生」 繋がる人・地域

地域活性→「SDGS」

- 1.耕作放棄地の再生
- 2.米作を通じた環境の保全
- 3.自然との共生
- 4.総括



1.耕作放棄地の再生

(1)環境にやさしい耕作放棄地の再生



- ①作物でCO2削減
- ②景観維持
- ③耕作放棄地の減少
→**獣害減少**

住み続けることができる
まちづくりに貢献する

農薬、化学肥料
不使用

生物多様性の維持
土壌・水質汚染防止
健康被害防止

海・陸の豊かさを守る



1. 耕作放棄地の再生

(2) 地域資源の有効活用



廃棄物の有効利用

- ① 農機具再利用
- ② 草や落ち葉・生ゴミ・大豆の搾りかす・もみ殻・米ぬか → **たい肥**



大量収穫

→ **缶詰やアイスの商品化**

商品開発

- ① **地産地消の商品**
→ **フードマイレージ減少**
- ② 無添加の商品開発
→ 可能な限り体に優しい



「作る責任・使う責任」を意識する

2. 米作りを通じた環境の保全

(1) 甘酒製作



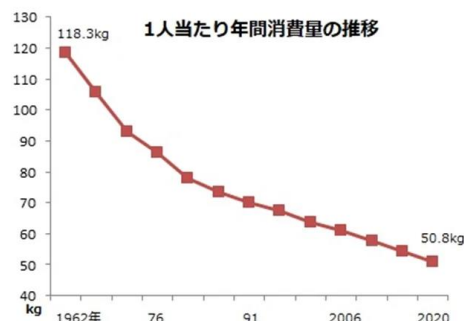
【農薬不使用米の利用】

- ①「ノンアルコール**甘酒**」製造
 - ②「**庭麴菌**」使用
- : 播磨風土記に記載



【酒粕の利用を提案】

- ①余剰の酒粕をかす汁に
- ②次は酒粕で肥料作り



地域の歴史・伝統を継承する

地域資源を有効に活用する

2. 米作りを通じた環境の保全

(2)米の栽培



①農薬不使用

→生物多様性・土壌汚染防止

②昔ながらの稲作→エネルギー0

③だて掛け→太陽と風、CO2削減

④くず米はせんべい

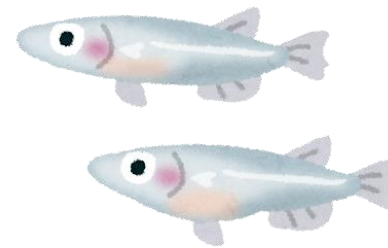
→廃棄物の利用、食品ロス啓発

⑤もみ殻・米ぬかで土壌改良

⑥無洗米→水質汚染防止



伝統的な米づくりは環境にやさしい



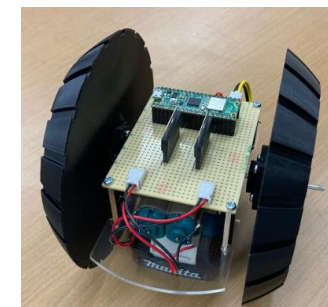
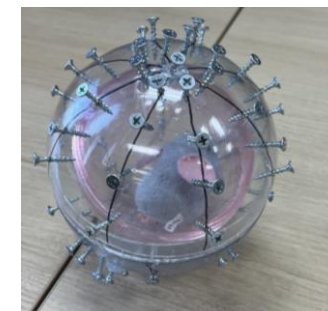
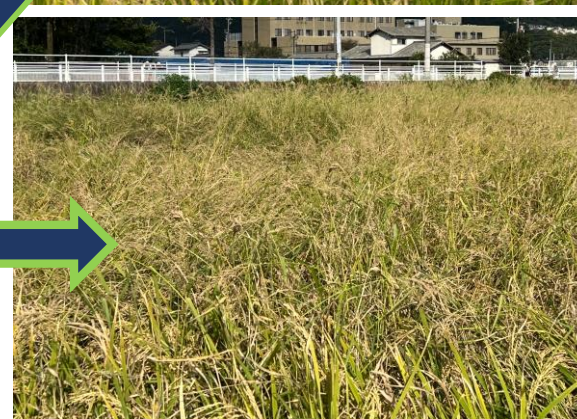
2. 環境保全を提案する (3)除草対策

①雑草対策（八反どりの実験） 田んぼの水を濁らせることで除草

除草の有無	収穫量
濁らせた田んぼ	243.2 kg
濁らせなかった田んぼ	70.1 kg

（1000平米あたりの収穫量）

→除草ロボットを兵庫県立大学と開発中 将来は太陽光ロボットへ



3. 自然との共生

(1) 鹿の有効利用と命の循環



【鹿肉を商品化】

- ① 猟友会 活気づく
→ 山と住環境の保全



【伝統文化を若者に】

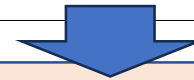
- ① 伝統文化 姫革の衰退
→ **廃材利用**
カーペット エコレザー



地域資源と地場産業を繋げる

【鹿丸ごと一頭の命を無駄にしない】

- ① 鹿革のコインケース
- ② 鹿骨を煮込んだ鹿井の缶詰



命の循環 「いただく」 気持ち



4. 耕作放棄地から未来につながる！ 総括 SDGsと地域交流



SDGsの13個 達成

- (1) 耕作放棄地の再生
- (2) 米づくりを通じた環境保全
- (3) 自然との共生



地域での世代間交流

- ①ワラでしめ縄
- ②SDGsフェスティバル開催
- ③地域の方と田植え・収穫
- ④幼稚園児と収穫体験
- ⑤食育：大根缶詰を園児に

地域資源を活用した持続可能な取り組み
人と人が繋がることで引き継がれる
「地域・自然を大切にする気持ち」

これからも地域の課題を見つけ、主体的に
「人・物・不用品」が循環する社会づくりを続けていきます！



ご清聴ありがとうございました
PROJECT TOYO一同

